

## インフルエンザ

和賀クリニック 院長  
和賀 一雄 先生

だいぶ寒くなってきましたね。毎年 12 月～3 月くらいに流行するインフルエンザ。シーズンに備えて予習をしたいと思います。

まず普通の風邪との違い。急にぞくぞくする感じ（悪寒）から半日以内に一気に 38～39 度の発熱そして関節痛を伴い、これはいつもの風邪よりちょっとひどいぞ、と感じることが多い。その後、咳、鼻水、喉の痛みなどが出現。体力のない高齢者や子供に肺炎を、子供を中心に脳症が発症することもあります。感染形式は、咳やくしゃみのしぶきを吸い込む飛沫感染及び自分の手についたウイルスが口に入ってしまう接触感染が主です。ですから予防にはマスク、手洗いが有効ですね。感染してから症状が出るまでの潜伏期間は約 1～2 日です。

さて、インフルエンザかな？となったら医療機関を受診すると思いますが、その場合は受付でインフルエンザかもしれないと言ってください。待合室の他の患者さんにうつらないよう隔離室に案内、または自分の車の中で待つよう指示されることもあります。医師が診察後、疑いがあれば迅速検査（鼻に棒を入れるやつ）を行います。陽性ならインフルエンザ確定ですが、陰性の場合でも感染初期の半日くらいのウイルス量の少ない時期には陽性にならないことがあります。インフルエンザと診断されたら学校は 5 日間お休みです（熱の下がりが悪い場合は延長）。毎年、流行の時期は受験シーズンと重なるため、受験生は要注意ですね。

ワクチンはインフルエンザにかかりにくくする効果がありますが、完全に防げないこともあります。しかし、かかっても軽く済むという効果がありますので、接種をお勧めします。接種から効果が出るまでに約 2 週間、効果持続は約 5 ヶ月くらいです。昨年度までの A 型 2 種+B 型 1 種（3 価と言います）から、今年度は B 型が 1 種増えて計 4 種（4 価）の新ワクチンになりました。効果は期待できると思いますが、納入価格が大幅に上がったため、多くの医療機関でワクチン接種費用は値上げになっています。